

単元名	跳び箱運動	配当時間	6時間
単元の目標	(1) 互いに協力して跳び箱運動をしたり、器械・器具の使用の仕方を工夫して安全に運動をしたりしようとする。 (2) 自己の能力に適した技に取り組み、その技ができるようにするための課題の解決の仕方を工夫することができる。 (3) 易しい条件の下で新しい技に取り組み、安定した動作での支持跳び越しができる。		
単元を構想する上での留意点	跳び箱運動は「腕による体の支持」「高所からの飛び降り」「体の投げ出しからの腕支持」[腕を支点にした体重移動]などの力や感覚が必要である。これらの力や感覚を体ほぐしの運動の中で、易しい類似の運動によって体験させていく。また、児童が意欲をもって取り組めるように、それぞれの技のステップに応じた場を設置し、易しい場でできたことを認め、新たな挑戦課題へと取り組ませていくことが大切である。児童一人一人の課題や技能により対応して指導するために学年TT又は、異学年TTを組んで指導できるとよい。 展開例1は基本的な学習活動の例である。学習の仕方が十分慣れていない段階で、もち技も少ない場合は、めあて1にじっくり時間をかけるなど弾力的に学習を進める。展開例2は、集団跳び箱の例である。集団で練習する中で運動のリズムや美しさを習得させる。今ある力を大切に運動の習熟を図るとともに、一人では味わうことができない集団的達成の喜びを与えることをねらう。		
単元展開例1 ... 基本的な学習活動の例			
準備	跳び箱、マット、セーフティマット、踏み切り板、踏み切り板調整器、ビデオ、技の連続図、学習カード など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 跳び箱運動の学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 自分力にあった跳び越し方を選び、リズムカ ルな動作で跳び越そう ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成し、役割を分担する。 ○跳び箱運動に関連した体ほぐしの運動をする。 ○試しの運動をし、めあてをつかむ。 2~5 跳び箱運動をする。 ○体ほぐしの運動をする。 ○本時のめあてや練習方法を確認する。 ○今できる跳び方で高さや向きの違う跳び箱を跳んで楽しむ。(めあて1) ○技のステップに応じた練習の場で、できそうな新しい技に挑戦する。(めあて2) ○反省し、まとめをする。 ・できばえ ・態度 ・次時のめあての把握 など		・ビデオや資料などを利用し、技の種類を知らせ、学習意欲を高める。 ・器具が速やかに準備できるよう分担しておく。 ・腕による体の支持や腕を支点にした体重移動などの感覚を経験させる。 ・できる技を確認させ、次時のめあてをつかませる。 ・自分から進んで取り組めるように、学習カード、ビデオ、連続図などを用意し、学習環境を整える。 ・無理なめあてに取り組んでいないか、安全に気を付けて練習しているかなど観察し、必要に応じて助言する。 評自分にあつためあてをもって練習する活動を通して、「思考・判断」を評価する。	

<p>6 発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体ほぐしの運動をする</li> <li>○演技種目の練習をする。</li> <li>○発表会をする。</li> </ul> <p>○単元のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめとして発表させる。</li> <li>・発表する跳び箱に補助具や補助者を置いた易しい場を用意し、完全なできばえでなくてもできたことを認め、発表させる。</li> </ul> <p>評発表会を通して、「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想の発表や学習カードによる自己評価などをさせる。</li> </ul>
---	--

単元展開例 2 ... 集団跳び箱運動を取り入れた学習活動の例

準 備	跳び箱, マット, セーフティマット, 踏み切り板, 踏み切り板調整器, ビデオ, 技の連続図, 学習カード など
学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 <a href="#">集団跳び箱運動</a>の学習のねらいと内容を理解し学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや進め方を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>今もっている力で友達と調子を合わせて、跳び箱運動を楽しもう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードや資料の使い方を知る。</li> <li>○マナーや安全な運動の仕方について知る。</li> <li>○グループを編成し、役割を分担する。</li> <li>○<a href="#">跳び箱運動に関連した体ほぐしの運動</a>をする。</li> <li>○<a href="#">試しの運動</a>をし、めあてをつかむ。</li> </ul> <p>2 今もっている力で、友達とタイミングを合わせながら、集団跳び箱運動を楽しむ。(めあて1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体ほぐしの運動をする。</li> <li>○跳び箱の配置の仕方や技の組み合わせ方、グループのめあてについて話し合う。</li> <li>○集団跳び箱運動の練習をする。</li> <li>○グループ同士でお互いに演技を見せ合う。</li> <li>○アドバイスを参考にして手直しを加え、練習する。</li> <li>○反省し、まとめをする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・技の種類 ・タイミングの合わせ方 など</li> </ul> </li> </ul> <p>3 集団跳び箱運動でのもち技を増やせるように、少し努力すればできそうな技に挑戦する。(めあて2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体ほぐしの運動をする。</li> <li>○自分のめあてや練習方法を確認する。</li> <li>○自分の力に合った練習の場で、新しい技に挑戦する。</li> <li>○反省し、まとめをする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・できばえ ・態度 ・次時のめあての把握</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳び箱の配置の仕方・技の合わせ方の例などを知らせ、学習意欲を高める。</li> <li>・1グループ2台の跳び箱を使用することを知らせる。</li> <li>・6～8人グループ。器具が速やかに準備できるよう分担しておく。</li> <li>・腕による体の支持や腕を支点にした体重移動などの感覚を経験させる。</li> <li>・できる技を確認させ、次時のめあてをつかませる。</li> <li>・第2時はめあて1の活動を中心に行う。</li> <li>・自分から進んで取り組めるように、学習カード、ビデオ、連続図などを用意し学習環境を整える。</li> <li>・グループの動きを観察し、必要に応じて助言を行う。</li> <li>・重なるタイミングをどこにするのか(踏み切り・着手・飛び越す瞬間・着地)確かめながら練習させる。</li> <li>・お互いにアドバイスをさせる。</li> <li>・第3時はめあて2の活動を中心に行う。</li> <li>・無理なめあてに取り組んでいないか、マナーや決まりを守っているか等を観察し、必要に応じて助言する。</li> </ul>

など

- 4~5 跳び箱運動をする。
- 体ほぐしの運動をする。
  - 本時のめあてや練習方法を確認する。
  - 今もっている力で、友だちとタイミングを合わせながら、集団跳び箱運動を楽しむ。(めあて1)
  - グループでお互いに演技を見せ合い、教え合う。
- 少し努力すればできそうな技に挑戦する。  
(めあて2)
- 反省し、まとめをする。
    - ・できばえ ・発表会のめあての把握 など
- 6 発表会をする。
- 体ほぐしの運動をする。
  - 集団跳び箱運動の練習をする。
  - 発表会をする。
- 単元のまとめをする。

- ・第4～5時は前半はめあて1に向かって集団跳び箱の練習を行い、後半はめあて2に向かって個人の練習を行う。
- ・めあて1から2へは全体で同時に移行するので、最初に時間を確認してから活動に入る。
- ・上達した点を賞賛し合うようにさせる。

評 集団跳び箱運動の合わせ方を工夫して練習する活動を通して、「関心・意欲・態度」「思考・判断」を評価する。

- ・単元のまとめとして、学習の成果を発表させる。
- ・よかった点を見つけ合うようにさせる。

評 発表会を通して、「技能」を評価する。

- ・感想の発表や学習カードによる自己評価などをさせる。